

はじめに

今年度、3名の新会員の先生をお迎えすることができました。本当に喜ばしいことと思っております。

この新会員選考にあたっては、今年も9名の候補者からによる激戦だったと伺っております。3名の先生をお迎えし、ますますIATSSが活発な学会になることを期待しております。

私は、今年「IATSSトーク」、並びに9月20日・21日に予定している国際シンポジウム「次の時代の交通と安全」のシンポジウム部会企画委員会委員長を担当させていただきました。すでに共催・後援いただいておりますが、内閣府・警察庁・国土交通省にもご後援いただける予定でございます。民間の学会にさまざまなお後援をいただくのは国際交通安全学会ならでのことだと思っております。

国際シンポジウムは、「平常時の交通と安全」「非常時の交通と安全」とに分かれております。9月20日午前の部で行います「平常時の交通と安全」は、国際交流部会主催セッションで、若手研究者による講演という形で「交通安全政策・政策変遷の国際比較」をご紹介します。

午後の部はシンポジウム部会主催セッションで、2年前に「これからの交通安全」をテーマに開催した国内シンポジウムの国際版を開催致します。米国、ドイツ、フランスから第一線の大御

所であり、大変ユニークな4名の先生方をお招きし、それぞれの先生方の領域でさまざまなお考えをご講演いただきながら、将来の交通安全の方向性について探ってみたいと思います。

21日の午後の部は、震災特別プロジェクト主催セッションがあります。去年1年間、震災後にIATSSとして何ができるか、一生懸命取り組んでまいりました。これまでの活動を踏まえ、多様な観点から「非常時の交通と安全」についてシンポジウムを開催致します。

本日もご参加の先生には、ぜひともご出席いただき、国連大学ウ・タント国際会議場を埋め尽くしたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

本日は、高橋先生、松橋先生、吉田先生と3人の新たな先生をお迎えしました。これまでの先生方のご経験、またさまざまな新たな知見をご発表いただき、今後のIATSSの発展のためにごのように活かしていただけるか、我々も考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願致します。

二〇二二年九月



谷川 武

シンポジウム部会企画委員会委員長  
愛媛大学大学院医学系研究科公衆衛生  
健康医学分野教授